

## 野々市市提案型協働事業 活動紹介

協働事業名	野々市の民話を活用した市内各所での民話劇 ～民話劇で野々市の魅力再発見!!～
事業年度と提案タイプ	平成25年度 市民提案型 野々市の民話を活用した郷土資料館企画展での紙芝居朗読劇
解決を目指す課題	野々市は転入者が多く、昔から住む人と新しく引っ越してきた人が入り混じるまち。そんな新規住民にも野々市に誇りと愛着を持ってもらう。
協働のポイント	野々市の民話をお芝居でわかりやすく伝えることで、共通の歴史認識を深め、そのような歴史を持つ野々市に誇りを持ち、ふるさと愛を感じてもらう。ふるさと愛が育むことにより、地域貢献の機運が高まる。また、将来的に野々市にずっと住みたい!と思う人が増える。
団体名称	野々市市民劇団「劇団 nono」
団体の紹介	野々市の地域住民で平成21年に設立。野々市市誕生記念公演を行う市民劇団の土台づくりとして活動開始し、平成23年1月にはフォルテ大ホールで「トランプの国」を上演。その後も市内小中学生から50代主婦まで幅広い年代の団員が地域に愛される劇団をめざして練習に励んでいる。 ※最新情報※ 平成28年2月11日フォルテ小ホールにて「OjとKj」を3回公演し、いずれも満席となった。内容においても大好評を得た。 ●事務局 野々市市文化会館（野々市市本町5-4-1） TEL076-248-8000
行政担当課	市民協働課

### 活動の紹介（事業概要）



平成25年10月14日（月祝）。  
野々市市郷土資料館で、民話劇「きつねの恩返し」を披露した。「北国街道野々市の市・歴史まちあるき」と同時開催。観客数は約80人。  
野々市市本町に住む吉岡幸三さんの紙芝居を使用。吉岡さんには小道具制作などでも協力していただいた。お話から道具作り、そしてお芝居全般で全て野々市の人がつくる「メイドイン野々市」の劇を楽しんでいた。



平成25年11月4日（月・祝）。  
「ののいちマナビィフェスタ2013」開催期間中。野々市市中央公民館で民話劇「きつねの恩返し」を上演しました。  
たくさんのお客さんと一緒に、白きつねを助けることができました。  
その他、平成26年3月21日（金・祝）に野々市市にある「フォルムのシティ」さんで、紙芝居劇「きつねの恩返し」を披露した。

#### ＜民話劇を観た方々からの感想＞

- ・野々市の民話をはじめて知った。
- ・キツネの伝説が野々市にもあったんだ！ など…。

#### ＜この事業活動を通じて得たこと＞

- 多くの方に向けて、野々市の民話や歴史に興味を持つきっかけ作りができた。
- 野々市に住む方が作成した紙芝居と市民劇団とのコラボレーション企画の成功で、地域住民同士でもっと楽しいことができるという気づきがあった。
- 今後も地域での活動を積極的に行い、野々市市民劇団「劇団 nono」から野々市の魅力を発信していきます。